

生徒指導部通信

令和2年度第3号

令和2年9月29日

文責 田中 優樹

■ 言葉

本日で前期が終了しますが、新型コロナウイルスの影響で4、5月と臨時休校、6月から本格的に学校が再開され、全員マスク着用、45分7時間授業、行事の延期など例年とは異なる日常を過ごしてきました。慣れないことばかりで大変だったとは思いますが、まずは一区切り、お疲れさまでした。振り返ってみると、「こんなことができた」と成長もあれば、「もっと～すればよかった」と後悔もあることでしょう。その時間は戻ってきませんが、後期からの取り組み次第でいくらでも挽回できます。後期からはまた気持ちを新たに、活動していきましょう。

「言葉」をテーマに書かせていただきますが、「言葉」にはどのような力があるのでしょうか。私が感じているのは「言葉には心を変え、行動を変える力」ということです。前向きな言葉かけ「自分はできる」などプラスの言葉を発することにより、前向きな考え方になり、良い行動につながっていきます。それは他人に対しても同じことが言えます。他人からの温かい言葉、励ましの言葉、感謝の言葉などそういったものは自分に元気を与えてくれるものだと感じると思います。しかし、その一方でマイナスな言葉は不愉快な気持ちになりますよね。

皆さんは、ほとんどが小さい時からお互いを知っていて、この人はこういう性格だ、こういう人間だとお互いに思っているはず。親しい仲だからなのか、心無い発言をしている様子を見かけることがあります。「何言ってるんだ?」と聞いてみると「昔からこういう感じなんですよ」という返事がきます。しかし、先生方は皆さんの小さい頃からの様子を知らないからこそ、その発言に対して「大丈夫かな」と心配になったり、そういった発言を不愉快に思ったりすることがあります。「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があります。「仲が良くとも、度が過ぎて礼を失するようなことがあってはいけないという戒めのことで、親しいことにより遠慮がなくなっていき、それが不和の元にもなる」という意味です。どんなに仲が良くても、お互いを知っていたとしても、「心無い言葉」一つで相手を簡単に傷つけてしまいます。また、第三者から見て変だなと思われる「言葉」にも注意が必要です。それを聞いて不愉快な気持ちになる人はたくさんいます。相手のため、周りのためにもなりませんし、その「言葉」は自分にも返ってきてしまうものです。しっかりと選んで発言しなければなりません。

「言葉には心を変え、行動を変える力」があるからこそ、相手にも周りにもそして自分にも、プラスに働く「言葉」を伝え合いましょう。

■ 生徒会役員決定

9月15日に生徒会役員選挙が行われました。生徒の代表として、えりも高校の顔として示しになるよう規律ある生活を心掛けていってほしいと思います。



会 計 監 査	会 計	会 計	書 記	書 記	副 会 長	副 会 長	会 長
川 村	工 藤	寶 金	工 藤	岩 間 夕 乃	大 平	大 川	柳 楓 汰
優 太	彩 加	楓 夏	春 乃	真 緒	琴 榛	楓 汰	楓 汰
(2 B)	(1 B)	(1 A)	(2 B)	(2 B)	(1 B)	(2 B)	(2 B)

■ 不安を言葉に

毎月、「面談希望調査」が行われていますが、今月からえりも町の「保健師」の方への相談も可能となりました。家庭での悩みや、性に関する悩みや不安なことを相談してくれたらと思います。自分一人で抱え込まず、言葉にしてみましょう。聞いてもらうだけで気持ちが楽になったり、「大丈夫だよ」の一言で心強くなったり、伝えることで救われます。

面談希望調査に限らず、何かあれば気軽に相談して下さい。